

出雲地域における産物の特徴について

鳥谷 智文

1. はじめに

出雲地域の産物：

- 「雲陽国益鑑」（神田家文書、以下「国益鑑」と記す）：大きな国益を生む産業を番付に見立てた刷物¹
産業別：国益 92 項目：「尾道御廻米」、「木綿」、「鉄山鑪」

藩営事業：「御種人参」、「木実方蠟」、「釜甌方鋳物」

日本海・宍道湖・中海の魚介類：「上方行ノ鱶（鰻）」、「浦々塩鯖」、「意東の赤貝」等
手工業製品：「今市ノ簪」、「島根秋鹿畳表」等

流通産業：問屋：宍道湖、中海：松江、馬潟、安来、美保関 日本海：宇龍、加賀浦、雲津
運輸：「大橋下漕舟」、「安来船頭」、「荒島の舟頭」

娯楽産業：湯治場：「玉造温泉」、「三沢の温泉」

遊郭：「杵築遊女」、「三保関遊女」、「和田見遊女」

旅宿：「杵築宿料」、「八軒屋町宿料」 富籤：「杵築富歩一」

医療：「山口伝十」、「西山須南保」、「田儀の目医者」

宗教：「大社祈祷参物」、「一畑薬師」、「三保関参物」、「日御崎（碕）参物」、「清水寺参物」等

地域別：松江：農産物、水産物、手工業、流通、運輸 今市：手工業製品

杵築：宗教施設出雲大社を中心に娯楽的要素を交え発展

美保関、東出雲、安来、島根半島の浦々：流通、寺社、水産物

- 「出雲国産物帳」・「郡別絵図註書帳」（島根県古代文化センター所蔵）：出雲国のあらゆる農産物や動植物を収録。産物の具体的な状況が示されている²。

→上記史料は実際にどのような産物がどれだけの価値をもっているのか数値では示されていない。

- 「旧松江藩引継雑款 物産表」（島根県立図書館所蔵、以下「物産表」と記す）：明治 5 年（1872）10 月、各郡から島根県に提出された史料を綴じた簿冊で、出雲地域について郡別に産物の生産量、生産額が記載されており、地域における産物を数値で知ることができる史料として貴重である。「物産表」を分析することにより、各郡における産物の概算値を表し、各郡における大まかな特徴を示すことができる。

先行研究：

内藤正中『新修島根県史』通史篇 2 近代（1967 年）、『島根県の百年』（山川出版社、1982 年）

高尾幸吉編『松江商工会議所七十年史』（松江商工会議所、1967 年）

柳浦文夫「島根県林業の特殊構造—たゞら・鉄山・薪炭林・広葉樹林的林相・大規模私有林—」（『山陰史談』第 2 号、1970 年） 等

¹ 乾隆明・下房俊一『決定版 見立番付を楽しむ—遊び心と本音が生んだ江戸時代のランキング情報誌—』（松江市教育委員会、2010 年）、拙稿「解説 雲陽国益鑑」（『松江市史』史料編 5 近世 I、松江市、2011 年）。

² 田籠 博『出雲国産物帳』（ワン・ライン、2008 年）。

●先学の指摘を踏まえつつ「物産表」を利用し、記載されている産物の価値をより詳細に数値で示すことによって、具体的な産物の特徴を示したい。また、「国益鑑」との比較検討も試みたい。

2. 出雲地域の主たる産物（表1）

出雲地域全体：産物 366 種目（生産額が示された産物：363 種目）

1 位：米　2 位：鉄（割鉄）…たたら製鉄業に関する産物：銑、鋼、鉄砂（砂鉄）、大炭、小炭
→20 位以内：合計生産額 281425 円 84 銭（12.3%）

3 位：木綿

●米、鉄、木綿は、「国益鑑」ではそれぞれ勸進元で「尾道御廻米」、西方大関で「鉄山鑑」、東方大関で「木綿」という最上位にランキングされており、この産物の番付は的を射たランキングであったことがわかる³。

3. 出雲地域における主たる産物の各郡別比較

①米（表2）：神門郡：生産量、生産額とも最も高い数値

貞享4年（1687）：松江藩、新田開発の方針明確化⁴→神門郡神西湖周辺地域の山本家による近世中期以降の新田開発⁵、出雲郡坂田村勝部氏の新田開発⁶、楯縫郡の新田開発⁷、意宇郡の宍道湖岸新田開発⁸、能義郡のト蔵孫三郎による新田開発⁹。

農業従事者の確保…藩内 20 万人を 6～7 万人の農業従事者で支えなければならない。

元禄2年（1689）：浜佐田新田開発により、「漁獵」を生業とした者→「百姓」¹⁰

②鉄（表3）：神門郡、飯石郡、仁多郡、大原郡、能義郡…鉄師（たたら製鉄業経営者）によるたたら製鉄業：神門郡：田儀櫻井家、柳原家、飯石郡：田部家、仁多郡：櫻井家、絲原家、ト蔵家、安部家、梅木家、枝木家、丸山家、大原郡：石原家、能義郡：家嶋家、秦家¹¹

③木綿（表4）：楯縫郡：生産量、生産額とも最も高い数値¹²。その他には出雲郡、大原郡、神門郡での生産が大きい。…「農作自得集」：「当国日井の河にながれ出る鉄穴砂に性よき真土を交へたる土地を上ともする也」（砂鉄を採取する「鉄穴流し」で流れ出た砂が綿作に影響している）、「国内にては大原大東あたりの土地は真土の内たま石の交りたる土地と見ゆれば、是等を畿内などに似て木綿には上品の土地と思へり」（大原郡の大東周辺の土地が綿作に適している）¹³

木綿市の設立：松江：末次、白潟、意宇郡：宍道、楯縫郡：平田、出雲郡：直江、神門郡：今市、杵築、

³ この評価については既に内藤正中氏が前掲高尾幸吉編『松江商工会議所七十年史』で指摘している。

⁴ 『宍道町史』通史編下巻第四章近世（宍道町、2004年）。

⁵ 岡一宏「近世出雲西部における新田の生成—神西湖周辺における様相—」（『松江市立女子高等学校研究紀要』第4号、1989年）、同氏「神西湖周辺の開発に関わる史料について」（『湖陵町誌研究』第1号、1992年）。

⁶ 岩成 博「斐川村における村方地主の系譜—江戸時代における勝部家の場合—」（『島根大学論集（社会科学）第4号、1958年）。

⁷ 『出雲北浜誌』（北浜自治協会、2011年）。

⁸ 岡一宏「宍道町域の湖岸開発関係史料について」（『宍道町歴史叢書』3、1998年）

⁹ 『新修島根県史』通史編1（島根県、1968年）には、ト蔵孫三郎の新田開発を含め、簸川平野の開発等松江藩領内の新田開発についてまとめられている。

¹⁰ 拙稿「解説 御条目并御用所御書出抜書」（『松江市史』史料編6近世Ⅱ、松江市、2013年）。

¹¹ 拙稿「明治初年出雲地域における鉄山経営の基礎的考察」（『たたら研究』第48号、2008年）。

¹² 藤澤秀晴氏によれば、「楯縫郡物産表」の木綿については、生産高ではなく取引高と判断できる可能性を言及している（「明治前期における雲州木綿の取引」『山陰史談』第3号、1971年）。

¹³ 小野武夫編『近世地方経済史料』第6巻（吉川弘文館、1958年）。

大原郡：加茂、大東、飯石郡：三刀屋、能義郡：安来・・・木綿の集積地
楯縫郡、出雲郡、神門郡：主に女性達が織った木綿を今市や平田の木綿市へ売って生計を立てる「売木綿」
という仕事が見られる¹⁴。

4. 出雲地域におけるその他の特徴的な産物の各郡別比較

①水産物（表5）・・・海の幸

水産物生産額：約 60667 円 36 銭（2.56%）：35 位：干鰯、38 位：生鰯、48 位：赤貝、50 位：生鰯、
55 位：小雑魚・雑魚、56 位：海老...

干鰯、生鰯：日本海に面した神門郡、楯縫郡、秋鹿郡、島根郡

生鰯：神門郡、秋鹿郡

塩鰯：神門郡、秋鹿郡・・・「国益鑑」東前頭 11 枚目「浦々塩鰯」

赤貝：意宇郡、能義郡・・・「国益鑑」東前頭 32 枚目「意東の赤貝」・・・中海での特産物¹⁵

小雑魚・雑魚：意宇郡、島根郡

海老：意宇郡、秋鹿郡

●宍道湖・中海の水産物（表6）

白魚（131 位）：松江、意宇郡 鱸（126 位）：松江、秋鹿郡

鰻（125 位）：松江、意宇郡・・・「国益鑑」西前頭 5 枚目「上方行の鰻」

鯉（299 位）：秋鹿郡 蜆（333 位）：意宇郡

鰯（63 位）：意宇郡・・・「国益鑑」東前頭 17 枚目「揖屋の鰯」

②菌類（表7）・・・山の幸

香茸（103 位）：生産量、生産額ともに仁多郡が 7 割以上、続いて飯石郡→奥出雲の特産

松茸（209 位）：島根郡、意宇郡、秋鹿郡 椎茸（260 位）：飯石郡、仁多郡、神門郡

5. 地域による産物の特徴

①秋鹿郡における産物（表8）・・・北部

全 96 種目

1 位：米、2 位：麦・・・農産物

3 位：畳表・・・「国益鑑」東方前頭 5 枚目「島根秋鹿畳表」¹⁶

10 位：瓦¹⁷

水産物：生鰯（4 位）、干鰯（8 位）、塩鰯（9 位）等・・・25 種類

②飯石郡における産物（表9）・・・南部

全 96 種目

1 位：米

2 位：鉄（割鉄）、4 位：鉄砂（砂鉄）、5 位：銑、8 位：鋼・・・鉄師田部家によるたたら製鉄

③松江における産物（表10）・・・都市部

¹⁴ 松原祥子「松江藩木綿市と町の訴願」（『日本史学集録』第 30 号、2007 年）。

¹⁵ 『東出雲町誌』（東出雲町誌編さん委員会、1978 年）。

¹⁶ 小林准士「村の成立と城下町」（『松江市史への序章 松江の歴史像を探る』松江市教育委員会、2010 年）、須藤吉郎編『古江村誌』（古江中学校、1949 年）

¹⁷ 小林氏注 16 論文、須藤氏注 16 書。『島根県秋鹿村誌』によれば、当地方では黒瓦が生産されていた。

全 50 種目

1 位：生蠟 14 位：米・・・比較的下位に位置

2 位：酒 3 位：桐油

7 位：綿打ち弓弦・・・「国益鑑」東前頭筆頭「綿打弦」

手工業製品：下駄（12 位）、傘（15 位）、筆（17 位）・・・「国益鑑」東前頭十九枚目「松江の筆」、釘大小（18 位）、元結（19 位）、菅緒（20 位）、足袋（22 位）等

水産物：鱸（23 位）、白魚（25 位）、鰻（33 位）・・・末次漁師と白潟漁師、松江藩殺生方の下で松江城下周辺の漁場での漁業特権を与えられ、運上銀の上納とともに白魚、鱸の献上が課せられた¹⁸。

6. おわりに —物流と消費—

①物流による収益の魅力・・・万延元年（1860）：松江の商業的衰退を食い止めるために、出雲国産鉄と他領へ通り抜ける鉄について、全て松江で取り扱いたい旨を町屋から松江藩に願い出ている。・・・鉄の流通を独占することが大きな収益となることを意味する¹⁹。

②人口が集中する都市部における物の消費→廃棄物の処理問題：

天明 8 年（1788）：廃棄物の河川への投棄禁止

文化 10 年（1813）：「皿茶碗瓦くす・貝から竹木之折」等→川中へ投棄 ←「塵捨場」2ヶ所設置²⁰

●今後の課題

時系列的な視点から産物をとらえることが必要である。

「物産表」において「国益鑑」と一致もしくは類似する産物は 92 種類中 29 種類に過ぎず、「国益鑑」に記載のある事項は、産物に留まらず畜産関係、寺社関係、流通関係、娯楽関係等もある。その価値及び収益を数値で示すことが必要であろう。

順位	産物名	生産量	生産額(円)	割合	分類	「雲陽国益鑑」番付
1	米	334384石2升6合7勺	934919.1863	41.0%	農産物	勸進元
2	鉄(割鉄)	414473貫目・6837駄	141744.738	6.2%	工産物	西大関2
3	木綿	501385反	127200.6419	5.6%	工産物	東大関1
4	麦(大麦)	58018石9斗2升6合	92265.9258	4.0%	農産物	
5	綿	9本・78747貫目320目	88387.3864	3.9%	工産物	東大関2
6	薪	28544631貫目	81745.9809	3.6%	林産物	
7	酒	12834石6斗9升	64761.2795	2.8%	農産物	
8	炭	653826貫目・81603俵	47578.7191	2.1%	林産物	
9	生蠟	253800斤・400貫目	40983	1.8%	工産物	西小結1
10	銑	224794貫目・4611駄	36151.0489	1.6%	工産物	西大関1
11	桐油	2017石6斗8升8合5勺	35664.1794	1.6%	工産物	
12	大豆	7407石2斗2合	35002.7876	1.5%	農産物	
13	鋼	151880貫目・1001駄	31003.6524	1.4%	工産物	西大関3
14	大炭	4361058貫目	27394.4613	1.2%	工産物	西大関6
15	小炭	2011石7斗2升・4950貫目・1370俵	26491.8028	1.2%	工産物	西大関7
16	蠟	365980貫目	25451	1.1%	工産物	西小結2
17	醤油	3708石4斗5升	17465.9251	0.8%	農産物	
18	大根	6074884本・499489貫目	17328.3815	0.8%	農産物	
19	薩摩芋(琉球芋)	726030貫500目	15139.3055	0.7%	農産物	
20	鉄砂(砂鉄)	1968004貫目・27956駄	14816.0257	0.6%	工産物	西大関5

出典：「旧松江藩引継雑款 物産表」(島根県立図書館所蔵)
注：蠟については、重複がないように木実方(課)の総量から各郡の量を差し引いた数値を記載している。

¹⁸ 伊藤康宏「文久三年 松江湖漁場由来記」・「解題」(『日本農書全集』59 漁業 2、農山漁村文化協会、1997 年)。

¹⁹ 拙稿「近世後期におけるたたら製鉄業の展開—出雲国松江藩領を中心に—」(『芸備地方史研究』第 284 号、2013 年)。

²⁰ 注 10 拙稿「解説 御条目并御用所御書出抜書」。